

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
 (東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
 問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規
 TEL 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツ うるま市石川庁舎周辺利活用プロジェクトと連携し マウンテンバイク (MTB) のトライアルイベントを実施しました

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則、以下：OC）は、うるま市が実施する「令和 7 年度石川庁舎周辺利活用推進プロジェクト」と連携し、マウンテンバイク（以下、MTB）を活用したトライアルイベントを実施しました。このイベントは、公民連携による人流と賑わいの創出による機能整備、既存市街地への経済的な波及効果等を図り、更なる地域との連携強化による事業推進を目的としています。

本取り組みは、OC が参画している「MTB 活用社会推進連絡協議会」の活動方針『自然・都市・人をつなぐ持続可能な MTB 活用社会の実現』に沿って、MTB が単にスポーツやレジャーの枠にとどまらず、健康増進、教育、防災、地域防犯、交通安全と空白の解消、移住・定住の促進といった、地方創生に関わる多面的な課題に対して横断的に作用するものとしての価値を、地域レベルで検証したものです。

■ 実施内容（10 月 25 日～26 日）

うるま市の石川公園と市民の森を会場として、子どもから大人まで参加可能な体験型イベントを展開。電動マウンテンバイク（E-MTB）も多数投入し、両会場内に安全なトライアルコースを整備し、石川公園～石川市街地～石川岳麓を周遊する体験ツアーを実施しました。

途中、地域の飲食店への立ち寄りも取り入れ、地域事業者との連携を図りました。

本イベントでは、主催のうるま市、MTB イベント企画・運営を担当した株式会社山守人、E-MTB 提供のヤマハ発動機株式会社をはじめ、地域事業者の株式会社 KEI LINER、サイクルプラザ池原とも連携し、参加者は 2 日間で約 100 名、ファミリー層を中心に、子どもと大人が一緒になって、MTB を通じて自然を感じながら地域をまるごと楽しむ「街と自然と世代をつなぐ体験」が創出されました。

【 MTB トライアルイベント 実施体制 】

主催		沖縄県うるま市	共催			
協力		サイクルプラザ池原		イベント全体HP		

【 MTB イベント会場 】



【 電動マウンテンバイク 】



■ 本トライアルイベントの特徴と検証ポイント

検証テーマ	内容	関連性
地域活性化	石川公園を核とした回遊性向上、地域経済連関	賑わい・観光振興
子育て支援 / 教育	子どもと大人と一緒に体験する「育ちの場」	生涯スポーツ×教育
森林空間活用	石川公園内緑地、市民の森の価値の可視化、環境教育機会の創出	自然共生・環境保全
健康増進	身体活動促進による健康都市づくり	ウェルネス都市
安全 / 防災	子どもたちの自転車乗車技術の向上 E-MTBの機動性・災害時活用可能性の確認	安全×防災×モビリティ

観光産業等が発展していく沖縄では、県内の子育て世代や働く世代にとって安心して楽しめる憩いの場や、家族での体験型フィールドが求められていくことが予想されます。

OC は、地域資源の利活用のコンサルティングや地域活性化事業等の経験を活かし、今回の MTB トライアルイベントから、うるま市石川地域のポテンシャルの再確認、利用者ニーズ、地域事業者との連携強化、賑わい創出や事業化の可能性を検証し、子どもたちの健全な成長、健康増進、交通安全、森林空間活用、防災、地域防犯、県民・市民への福祉、観光振興として、うるま市および地域事業者・MTB 活用社会推進連絡協議会と連携し、石川公園を中心とした MTB 活用による地域の魅力向上に貢献できるよう取り組んでまいります。

【会場：石川公園 MTB 体験】



【会場：市民の森 MTB 体験】



【石川市街地周遊 飲食店立ち寄り・休憩】



＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・日原・丸山・門司